

環境調査結果のお知らせ

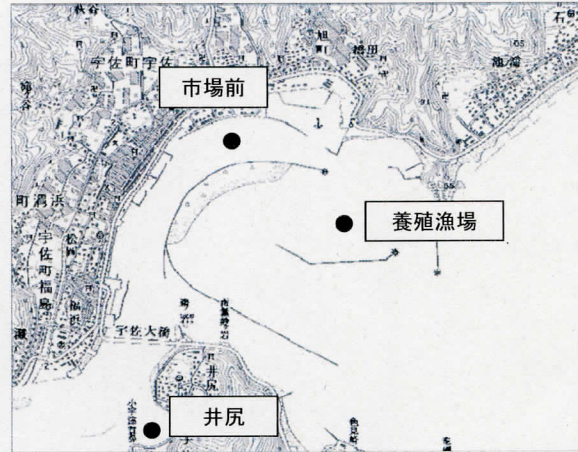
本日午前、宇佐漁港周辺のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

採水サンプルを検鏡した結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で130cells/ml、シャットネラ属が最高で360cells/ml確認され、すべての観測地点でシャットネラ属が漁業被害が想定される細胞密度を超えていました。

浦ノ内湾内は、シャットネラ属による着色がみられており、降雨等による増殖や潮流等により拡大する恐れがあります。海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属
市場前	0m	11	70
	2m	130	360
	5m	22	105
養殖漁場	0m	5	9
	2m	10	73
	5m	3	54
井尻	0m	30	59
	2m	18	126
	4m	67	160
(参考) 光松	0m	0	0
	2m	17	427
	5m	42	524
(参考) 大鹿	0m	280	1,260
	2m	58	877
	5m	3	244
(参考) 水試小割前	0m	0	1
	2m	31	122
	5m	300	1,060



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ
数百～5,000cells/ml(魚類などのへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)